

留学生サポーター チューター・LA&メンター ガイドブック 2023



フェリス女学院大学
国際センター・国際課

外国人留学生のサポートの種類、活動内容について Q&A 形式で紹介します。



Q フェリスの留学生とは、どのような方たちですか。

A 協定校から半年間または 1 年間フェリスで学ぶ「交換留学生」と日本人学生と同じように学位取得を目的として 4 年間学ぶ「私費留学生」が在籍しています。

	交換留学生	私費留学生
入学の形態	フェリスの協定校： 中国、韓国、台湾、ドイツ、スペイン、 インドネシア、フィリピン、スロバキアなど	フェリスの留学生入試、編入学、 大学院入試により入学
入学の時期	4 月または 9 月	4 月
在学期間	半年間または 1 年間	学部生は 4 年間
日本語を 学んだ経験	1～2 年程度	1～2 年 +日本国内の日本語学校で 1 年間程度
日本の生活	来日が初めてというケースが ほとんど	日本での生活経験あり。
大学での生活	本国の大学（協定校）で修学経 験あり。	大学生生活自体初めてというケースが多い。
住まい	全員が国際学生交流会館ドリー 湘南台 Lei（以下、会館）に居住	賃貸アパートなど 「会館」以外のケースが多い。

Q 留学生サポーターには、どんな種類がありますか。どう違うのですか。

A メンター、チューター、ランゲージ・アシスタント(LA)、レジデント・アシスタント(RA)の 4 種類があり、それぞれ役割が分かれています。

	メンター	チューター ランゲージ・アシスタント(LA)	レジデント・アシスタント (RA)
主な役割	留学生の学生生活を フォローする。留学生に とって最初の友だち。	留学生が履修している授業の解説、 学習上のアドバイス。 ・チューターは「日本語以外の授業」 ・LA は「大学で学ぶ日本語」	受入交換留学生と同じ 会館に入居。共同生活 を送るうえで必要なルール の説明や手助けなど。
なるには	説明会（年 2 回）に 参加して応募する	公募、先生からの指名 国際課から依頼されたらぜひ引き受 けてください（随時）	説明会（年 2 回）に 参加して応募する
謝金	なし*	あり	あり

*例外として交換留学生が来日した日の出迎え（空港から会館への送迎）は賃金、交通費が支給されます。

Q 留学生は、メンターやチューター・LA のほかに誰から、どのようなサポートを受けられるのですか。

A 先生方、担当部署から次のような点で支援、指導を受けられます。

	所属	担当・役割	場所
教員	国際センター講師	「大学で学ぶ日本語」「日本事情」 あん さんひ 先生、しんたに ちか 先生 主に日本語学習、生活上の支援・指導。	7号館4階 個人研究室/ CLA棟2階 教員ラウンジ
	アカデミック・アドバイザー	留学生ごとに割り当てられています。 履修計画全体の指導・助言。	各個人研究室
部署	国際課	<input type="checkbox"/> 在留資格 <input type="checkbox"/> 在籍確認 <input type="checkbox"/> 奨学金 <input type="checkbox"/> 会館 <input type="checkbox"/> 留学生サポーターの募集、採用	CLA棟2階

受入交換留学生は全員「会館」に居住するので、日常生活におけるサポートは、RA（レジデント・アシスタント）から受けることができます。

	交換留学生	私費留学生
健康診断	メンターが付き添う	自分で対応
市役所の手続き	国際課で説明、RAが支援	日本の生活経験があるので、自分で対応
銀行口座の開設	国際課が支援	開設済みのケースが多い
スマホ・Simカードの契約	必要に応じて、メンターが支援	契約済みのケースが多い
日常の買い物	湘南台周辺はRAが案内	ケースに応じて必要なアドバイスを
定期券の購入	在籍確認シールの説明	定期券発売所の説明
学内Wi-Fiの設定	メンターが補助	メンターが補助
後期授業料の支払い手続き	相互免除 (フェリスの手続き無し)	「口座振替用紙」を提出する 総務課の場所・開室時間を教える
証明書発行機 (1号館地下1階)	必要に応じて、 「学割証」の発行方法を教える	在留期間更新手続きのため フェリスの在籍証明書が必要
サークル活動	加入できる	加入できる
チューター・LA	利用できる	利用できる

交換留学生、私費留学生ともにサークル活動に加入、チューター・LAの利用ができます。

■ 留学生の興味がありそうだったら

✦一緒に担当者や窓口を訪ねる、など相談しやすいようフォローしてください。

■ 履修上の問題を抱えていると思われるときは

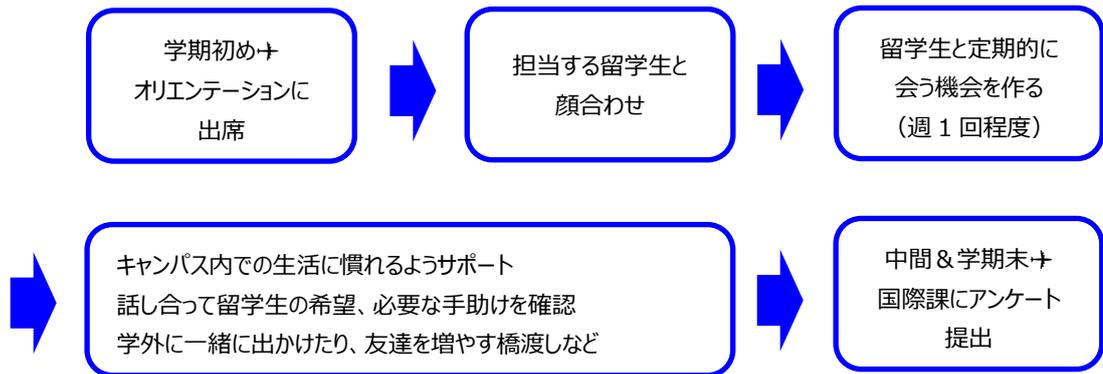
✦国際センター講師または国際課（CLA棟2階）にらせてください。



Q メンターは、まず何をするのですか。

A

【流れ】



【基本】

主な役割は、キャンパス内での生活支援です。

(1) 説明会

- 留学生サポーター・オリエンテーションに出席してください。

(2) 顔合わせ

- 留学生とのマッチングは、学科やバランスを考慮して、国際課で行います。
- 最初の顔合わせは、国際課でセッティングします。

(3) 会う機会をつくる

- 留学生と定期的に、直接話す機会をつくってください。

(4) アンケート（報告書）の提出

- 学期の中間と、学期末にアンケート提出してください。

提出先：国際課



(5) 困ったときは

- 全ての質問や相談に対してメンターが調べたり解決したりする必要はなく、何を見て、どこに行き、誰に確認すれば良いかをアドバイスしてください。
- つまり、質問や相談の内容に応じて、担当の部署や専門のスタッフに「つなぐ」「案内する」「一緒に窓口を訪ねる」ところまでで十分です。
- 何でも先回りして「手伝ってあげる」「代わりにやってあげる」のではなく、留学生が自分で解決できるように、「協力する」、という姿勢で臨んでください。

Q メンターとしてサポートするとは、具体的にはどういうことですか

A

(1) 親しい友達の一人として接する

- 留学生は、家族や親しい友人とも離れて海外で生活しています。中には 1 人暮らしが初めてという人もいます。留学生にとって身近で安心できる存在になってください。
- 毎回 1 対 1 でなくても構いません。友達を交えてランチやお茶、学内の説明会やイベントと一緒に参加するなど、あなたが新入生だったときに先輩や友達からしてもらったことを思い出してください。
- 学食と国際課の間にある「国際交流ラウンジ」は、留学生との交流のために優先的に設けられたスペースです。留学生とのランチや待ち合わせにぜひ利用してください。

➔「国際交流ラウンジ」：留学生のサポート、交流が目的であれば、優先的に予約もできます。



(2) 手続きや制度の利用に関すること：

やさしい日本語に言い換えるなどして、わかりやすく説明する。

【前提】

交換留学生、私費留学生にはそれぞれ担当部署（国際課、教務課）から、日本人学生とは別にオリエンテーションを実施し、専用の手引き（下記参照）を配布、詳しく説明しています。これらの冊子に関する事で質問があるかもしれません。

そのようなときは、口頭だけでやり取りするのではなく、資料やカレンダーなど「同じもの」を見ながら説明するとよいでしょう。フェリス生にとって慣れてる略語（例：フェリパ、フル単、インテン・・・）ではなく、最初は正しい名称を用いるなど、留学生が理解しやすい表現で接してください。

履修登録

履修上のルールに基づいた時間割になっているか、わかる範囲で点検する。

期限や優先順位をきちんと理解しているか尋ねてみる。

留学生の身分（交換 or 私費）によって履修登録のルールが異なります。

自分の経験だけで説明せずに、曖昧な点は担当部署（教務課）に問い合わせてください。

学内の施設や制度の利用

図書館や保健室、学部共同研究室、先生方のオフィス・アワー、スクールバスの乗り方など。

皆さんが新入生のときに知らなくて困ったこと、役に立ったことなどを教えてください。

	交換留学生	私費留学生
手引き：冊子	Study at Ferris	私費留学生ハンドブック
履修登録	<u>所定用紙を教務課に提出</u> * Web による履修登録はできません	Web 履修登録： ルール自体は日本人学生と同じ

Q どんな人がメンターに向いていると思いますか？ 英語ができなくても大丈夫ですか？

A 留学生は日本語を学びに来ているので、無理に英語や留学生の母語で話す必要はありません。自然に留学生の出身国の言葉や文化的背景に関心をもつようになれば、それも素晴らしいことだと思います。

- ・こまめに連絡のとれる人。親身になって対応できる人。
- ・異文化コミュニケーションに興味のある人。
- ・適度な距離を保つことが必要な場合もある。抱え込まずに、周囲にも相談できる人。

Q メンターを担当してみて、どんな変化がありましたか？

A ■「おもてなし」「サービス」ではなく、自分も楽しみながら。

メンターを始めた頃は、留学生は何をしたら喜ぶかなど「海外の人」という意識で見て自分が楽しむことを忘れていた。その原因に気づいてからは親しい友達の一人として留学生と関わることができるようになり、特別なことをしなくても楽しく過ごせるようになった。留学生に対する考え方が変わったことが一番の収穫。



■「わかった？」「大丈夫」で安心しない。

理解できなかったことをはっきり言うことはとても勇気がいることだと知った。ジェスチャーだけでなく、会話をしているときに相手をよく観察すること、相手が気軽に聞き返せる環境を作ることが大切だと学んだ。

■宗教に対する知識

一番学んだことは、宗教の違い。イスラム教の留学生と活動したことで、自分の視野と知識が広がった。困ったことは、日本の歴史に関する自分の知識の無さ。留学生の方が日本を知っていることも多く、帰省先と留学生の出身地が姉妹都市だと聞き驚いた。まずは自分の土地を知ることが国際力につながる一歩。

■お互いの価値観を尊重する

留学生と交流という構えてしまうが、育った環境は違っても同世代の学生。戦争や平和といった少し重い話から芸能人の話まで、お互いの価値観で話し合えることが、貴重で素晴らしいことだと思った。

■完璧に話せなくていい

「日本人とは違うから、変なことを言って傷つけてしまったらどうしよう」と緊張したが、傷つく・傷つけるといった問題は最初の会話が成立してからのこと。話さないと国際交流はおろか、日本人とのコミュニケーションもとれない。まず、何か話しかける！

Q メンターを担当しているとき、困ったことはありませんでしたか？ どのように解決しましたか？

- A
- 1対1で交流すると会話が続かないとき
 - ✦ 日本人の友達を紹介すると留学生も喜んでくれた。
友達も一緒に連れて行って複数で交流するのもアリ！
 - ✦ 「日本人の友だちの一人目」として、どうしているか気かけると、自然に関係がつくれる。
積極的に連絡することが大事。
 - ✦ 初めは何を話せばいいのか不安だったが、お互いに好きなことを分かり合っていくうちに話題も豊富になっていった。
 - ✦ 相手の国に敬意と興味を持つことで、コミュニケーションを増やすことができる。
 - 生活習慣やマナーの違いに戸惑ったとき
 - ✦ 文化の違いを感じた時は、教えてあげた方が留学生のためになる。
 - ✦ メールを送る時は文章をわかりやすく、簡潔に。要件にタイトルをつけて箇条書きにするのもよい。
返信が遅くても、必要以上に焦らないこと。
急いで返事がほしいなら「いつまでに」とお願いしてみる。
 - ✦ 留学生にとって、母語以外の言葉で整ったメール文を作るのは難しいと理解すること。
 - ✦ 文化の違いをきちんと説明すると嫌悪感も無くなり、お互い先入観を持たずに分かり合えた。

Q メンターを経験して、学んだことは何ですか？

- A
- ✦ 留学生は率直に接してくれるので、日本人独特の「あいまいな態度」について考えさせられた。
 - ✦ 留学生と関わる時には「一人の日本人」として見られていることを感じ、もっと自国のことを知る必要があると思った。
 - ✦ 慣れない日本の習慣や人々の中で生活するストレスを、自分が一緒にいることで少しでも緩和しあげられることを知った。
 - ✦ 留学生はわからないこと、手伝いが必要なこと、不安なことがあっても、積極的に質問してくるわけではないので、こちらからのアクションが大事だと思った。
 - ✦ 国によって食べられるものが違ったりする。日本と文化も違うので、お互いを尊重する大切さを改めて感じた。
 - ✦ 出身国で先入観を持つことがあったが、メンターになってからそのようなことがなくなり、直接交流することの大切さ、楽しさがわかった。
 - ✦ 日本人同士なら細かく言わなくても分かり合えるが、留学生に対してはきちんと説明しないと理解してもらえないことを学んだ。他者（特に外国人）を理解することの複雑さと楽しさを知ることができた。

4

チューター・ランゲージアシスタント (LA)

Q チューター・LA は、どのような人が採用されるのですか。どのようにしたらなれますか？

- A ① チューターは、留学生と同じ授業を履修している学生の中から選ばれます。
先生からの推薦、または国際課からの依頼、公募と面接により採用されます。
- ② LA は、留学生科目「大学で学ぶ日本語」の学習支援なので、公募と面接により採用されます。

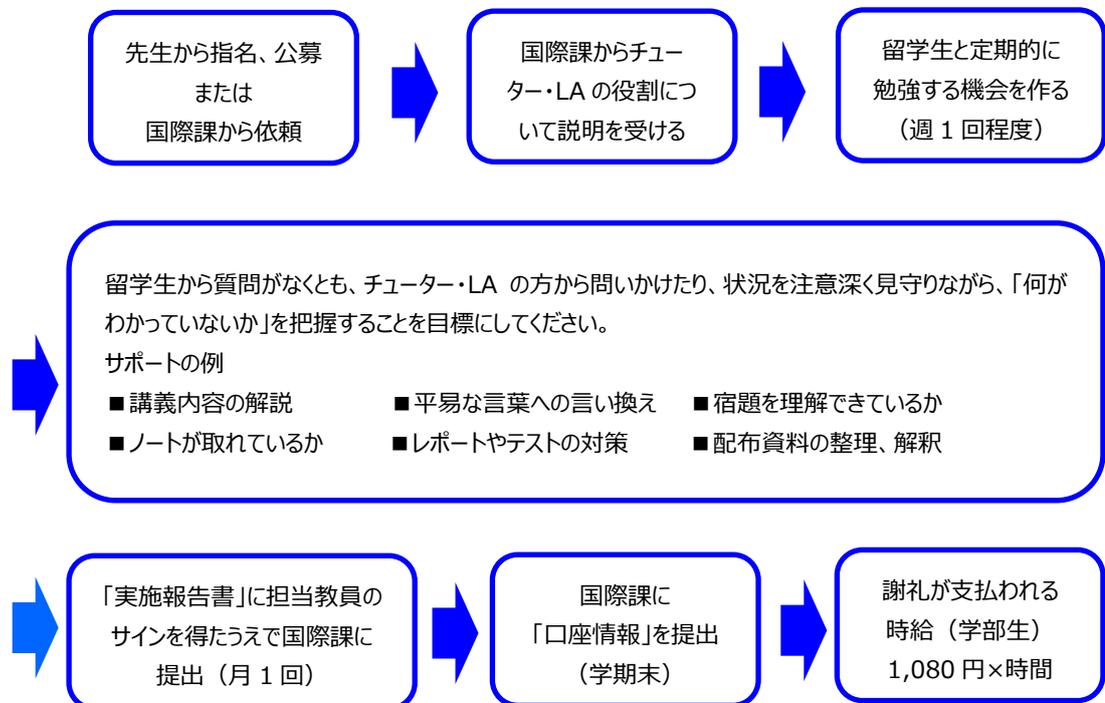
「チューター・LA をやってみたい」学生は、ぜひ国際課に申し出てください。
あなたと同じクラスに留学生がいる場合、優先的にチューター募集の声をかけるようにします。
実際にこのような方法でチューターとして活躍したケースもあります。

Q チューター・LA は、いつからいつまで、何をしますか。

- A 原則として1学期間、週に1回程度、一緒に勉強する時間を設けてください。
双方、あるいはチューター・LAにとって負担が大きすぎると感じたようなときは、遠慮なく国際課 (CLA 棟2階)、国際センター講師 (7号館4階)、あるいは担当の先生に相談してください。

【流れ】

→勉強する場所は：
できるだけ国際交流ラウンジで！
予約もできます。



【賃金の送金予定】

10月末、3月末



Q チューター・LA は、いつから、どのように活動を進めればよいですか。

【基本】

(1) 説明会

- チューター・LA に指名された方には、個別に国際課から基本的な役割について説明の場を設けます。
- 留学生とのマッチングは、先生から指名される場合と、先生から委託されて国際課が直接依頼する場合があります。

(2) 顔合わせ

- 最初の顔合わせは、初対面でも、すでに面識がある場合でも、国際課でセッティングします。
- 留学生と直接かつ定期的に会う機会をつくってください。

(3) 勉強する機会をつくる

- 勉強する場所は、図書館、F カフェ、学外でも結構ですが、できるだけ「国際交流ラウンジ」を利用してください。目的がチューター・LA と留学生との勉強であれば、優先的に座席の予約もできます。
- 留学生が必要とするサポートの内容によりますが、最初のうちは週 1 回の授業につき週 1 回の予習・復習の時間を設けるようにしてください。
- 中間や学期末のレポートのときだけサポートがほしい、という単発のケースもありえます。
- 大学で会うことが難しい場合は、オンライン（Zoom や LINE など）で活動することも可能です。



(4) 報告書の提出

- 月 1 回、「実施報告書」に担当教員のサインを得たのち、国際課に提出してください。
- 学期末に「口座情報」を国際課に提出してください。

(5) 困ったことがあったら相談

- 全ての質問や相談に対してチューター・LA が調べたり解決したりする必要はありません。高度に専門的な内容であったり、課題の趣旨自体がわからないようなときは、担当の先生と一緒に訪ねて直接質問しましょう。
- 日本語の文章を添削したり、講義・資料の内容を易しい言葉・表現に置き換えたりすることは、チューター・LA 自身にとっても大変良い経験になりますが、難しいと感じる場合は無理せずに、国際センター講師の先生に相談してください。

5 チューターを経験した先輩の声

Q チューターを担当しているとき、困ったことはありませんでしたか？ どのように解決しましたか？

A ■困ったこと

- ✦留学生が「何がわからないか」「どう教えてほしいのか」を探るのが難しかった。
- ✦自分自身が人に教えられるほど理解していなかった。
- ✦漢字の読み方が中国とは違い、また「読み」が複数あり、送り仮名によっても読み方が変わるので、本当に外国人が日本語を勉強するのは大変だと思った。

■このようにして乗り越えました

- ✦まず自分が授業の中で理解し、効率良く教えられるようにする。
- ✦何がわかるか、わからないかを明確にする。聞いても具体的に答えてくれるわけではないので、自分がよく観察して突き止めるようにした。
- ✦一行一行一緒に読むことで、日本式の漢字の読み方や言い回しを教えることができると気づけた。

■困ったこと

- ✦普段使っている日本語を、いざ説明しようと思ったら、何と書いていいか迷ってしまった。

■このようにして乗り越えました

- ✦「この単語難しいかな？」と思うところは予め調べておく。わかりやすくするために、他の言葉や例を探して説明した。



■困ったこと

- ✦ひたすら自分が喋ってしまったので、留学生の方が細かい部分を理解してくれたか不安。
 - ✦テキストの言葉を易しい日本語に変換したり、解釈を伝えることが難しかった。
- このようにして乗り越えました
- ✦「対話」を意識して、留学生がどこを理解し、どこがわからないのかをちゃんと把握するようにした。
 - ✦難解なところはノートをまとめたり、資料を配ったりした。
 - ✦最初は手探りだったが、だんだん教えるのに慣れてきて、余裕を持って説明できるようになった。
 - ✦留学生の方も前よりうなずいてくれたり、質問してくれるようになった。

■困ったこと

- ✦自分では授業内容を理解できているつもりでも留学生が知りたいことの間ギャップがあった。
 - ✦私が思っているより深いことを知りたいのだと気づいた。
- このようにして乗り越えました
- ✦どのように説明すればわかりやすいのかを常に頭に入れて話をしなければいけないとわかった。
 - ✦授業中はできるだけ多くノートを取り、質問されるであろう場所を予測しておく。
 - ✦表面上でなく、ポイントのつながりや時間軸など、もっと整理しなければならぬとわかった。

Q チューターを経験して、学んだことは何ですか？

A

✦日常会話に支障はなくとも、抽象的な概念やカタカナの地名、古語などを教えるのが難しかった。チューターが一方向的に教えるのではなく、留学生本人に意見を言うてもらおうことがお互いに時間をかけすぎないために一番良いことだと思った。

✦私にとってもすごくいい体験でした。自分たちが普段話すことばを「解説する」となると、こんなにも難しいんだと知ることができ、外国の方が不思議に思う点などを聞いて面白いなと思った。

✦内容を理解できるようにすることの難しさ、『教える』ための勉強の方法の難しさを学んだ。初めは上手にできなくて、留学生を困らせてしまったかと思う。それなのに勉強以外のことも話してくれて、たくさん助けられた。回を重ねるごとに仲も深められ、チューターという貴重な経験をできてとても嬉しく思う。

✦互いに持論を展開することで、個人の考え方の違いを感じることができただけでなく、国籍の違いによる性格的傾向に気づくことができた。この活動を通して、留学生と交流できたことが何より楽しかった。



Q これからチューターになる人へ、アドバイスはありますか？

A

✦授業中は集中してメモを取り、理解を深めた方が良いです。

✦プリントを扱う授業では、今どこを読んでいるかわからなくなってしまうので、授業中、こまめに留学生の様子を見て支援すると良い。

✦国語辞典を使い、同音異義語や表記は同じでも複数ある意味について説明するのも、日本語学びに来ている留学生の一助になるはず。

✦キリスト教など神話の世界観は言葉で説明するよりも画像や映像を見せる方が理解しやすい時もある。また、授業内容を自分たちの身近な出来事と関連付けると理解が深まる。

✦相手の理解度を確認するのが大切だと感じた。ノートを見せてもらったり、「今のところを説明してください。」と留学生に答えてもらうよう、こまめに確認した。

✦全ての内容に時間をかけ説明していくと、本当に大切な内容の印象が薄れ効率も悪い。大事な部分と大まかな理解でも良いと思われる部分を判断して勉強を進めていくと、留学生にとっても良いと思う。

✦相手がしっかり理解してくれるまで根気強く教えてあげることが大切かなと思うので、中途半端なままにしないでほしい。

✦チューターをやることによって、留学生だけでなく、私の理解も深めることができて良かったと思います。実施時間を決めた方が計画どおりに進めやすく、時間の余裕もできたのではないかな。



Q LAを担当しているとき、困ったことはありませんでしたか？ どのように解決しましたか？

A ■困ったこと

✦話し言葉と書き言葉を文章内でどう使い分けるか説明すること、助詞は普段から感覚で選んでいるので理由をつけて説明するのが難しかった。

✦文章を添削する際に留学生の言葉をなるべく崩さずに修正をすること、留学生が書く文章は一つの文に多くの意味を含んでいるので、どうすればより伝わる日本語になるか考えた。



■このようにして乗り越えました

✦例文を多くあげて、より留学生がイメージしやすい方法で日本語を説明した。

✦自分が修正した文章が元の文のニュアンスを崩していないか、一つ一つの文章を留学生と一緒に確認しながら修正した。

✦非日本語話者だと日本語のどんな発音が難しいか、音読の際に抜けてしまいがちな接続語を意識して教えた。

Q 活動で工夫したこと、これからLAになる人へのアドバイスはありますか？

A ✦留学生としてみるのではなく、一人の学生として接するようにした。相手の国について聞くのではなく、趣味や日々の過ごし方やバイトなど、お互いの共通点を探して話すことで会話が弾んだ。

✦留学生がLAに申し込んだ理由を確認し、会話（雑談）を中心に活動した。事前にどのような内容で話すかトピックをいくつか用意した。

✦活動前に時間を区切りながら会話内容の計画を立てたが、細かな計画は必要なく相手を楽しみやすい気持ちになれることが最も大切だと改めて気づかされた。



留学生サポーター
チューター・LA & メンター ガイドブック 2023（第1版）

2023年4月 発行

フェリス学院大学 国際課

〒245-8650 横浜市泉区緑園 4-5-3

TEL: 045-812-9129

FAX: 045-812-0021

Mail: kaigai@ferris.ac.jp

URL: <http://www.ferris.ac.jp>